

ロシア経済・金融概況

Main Economic & Financial Indicators (Russia)

経済調査室  
Economic Research Office

(照会先：石原尚子 naoko.ishihara@uk.mufj.jp)

概況	消費、労働市場
<p>ロシア経済の勢いは個人消費を中心に鈍化傾向にあるものの、足元では、予想以上の底堅さがみられる。特に昨年9月にかけて減速ペースが加速していた総固定資本形成が10月以降若干持ち直したことで、今後、投資が消費鈍化の影響をある程度相殺する可能性も出てきた。</p> <p>財政に目を転じると、2012年の財政収支は、2011年(対GDP比1.3%の黒字)から黒字幅は縮小するが、引き続き黒字を計上した見込みである。一方、2013年以降は新たな財政ルールが大幅な歳出増加に歯止めをかけることになっているものの、先の大統領選挙の公約に盛り込まれていた軍事費、年金支給・公務員給与に絡む歳出分は削れない半面、歳入面では景気鈍化や若干弱含みが予想される原油価格などを背景に歳入増は見込めないため、小幅な赤字に転じると見込まれている。</p> <p>欧州復興開発銀行は、直近のレポートで、ロシア経済のエネルギー産業への依存度が足元で一段と高まっている現状を指摘し、産業多様化の必要性を訴えた。そのためには、教育及び人材の質の向上が急務であるほか、市場ニーズに即したりサーチ・開発を促進する政策実施が必要であるとした。また、同国の地理的な多様性は産業の多様化を進める上で有利な条件として働くとも指摘した。</p>	<p>11月の小売売上は前年比+4.4%と前月の同+4.0%から上昇したが、第3四半期までの平均伸び率である同+6.4%と比較するとその勢いは鈍化している。一方で11月のサービス部門のPMI指数は57.1と2011年5月以来の高水準を記録するなど予想以上に底堅く推移している。ただし、家計向けの貸出が減速傾向にあることや実質賃金上昇率の伸び悩みなど、個人消費を取り巻く環境に陰りが見え始めており、これを反映して消費者心理は先行き期待を中心に悪化傾向を示している。</p>  <p>(資料) Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>
<p>GDP</p>	<p>物価、政策金利</p>
<p>第3四半期の実質GDP成長率は、前年比+2.9%と前期の同+4.0%から減速した。ただし、前期比ベースでは+0.8%と前期の+0.4%から加速するなど、予想以上の底堅さを保っている。個人消費が前年比+4.3%と前期の同+6.6%から減速。総固定資本形成は同+7.2%と前期の同+7.9%から若干減速したものの、月次ベースのデータは第4四半期に入り若干改善するなど、踏み留まるサインを示している。一方、輸出は、アジア向けの輸出が良好であったことに昨年のペースが低かったことが加わり、前年比+9.6%と高い伸び率を示し成長率を下支えした。ただし、主要輸出先であるユーロ圏の景気後退が続くなか、その持続性については若干疑問が残る。</p>  <p>(資料) FactSetより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>	<p>12月の消費者物価指数は前年比+6.6%と、食料品価格が前年比+7.5%上昇したことを主因に、中央銀行が掲げる2012年末のインフレ率の目標値の上限である6%を上回った。中銀は、インフレ率は高止まっているがその主因は食料品価格の上昇によるところが大きく、賃金上昇率などは比較的安定しているほか9月の利上げによってインフレ期待はある程度抑えられたという見解を示し、1月15日の金融政策委員会において、政策金利であるリファイナンス金利を8.25%に据え置いたほか、当面、現在の水準を維持することを示した。また、前回12月の同委員会では、中銀へのデポジット金利を0.25ポイント引き上げ4.5%にする一方、ルーブルの通貨スワップ金利を0.25ポイント引き下げて6.5%とすることで金融機関によるルーブルへのアクセス緩和を図るなど、金融政策姿勢は中立としながらも、事実上、緩和姿勢に傾いている。</p>
<p>生産</p>	<p>国際収支</p>
<p>11月の鉱工業生産は前年比+1.9%と、前年の高めのペース効果の影響もあり低い伸びが続いている。一方、11月の製造業部門の購買担当者指数(PMI)は52.3と前月の52.9から若干悪化したものの、拡大・縮小の分岐点である50を上回る状態を維持している。新規受注指数が国内外とも改善するなど、先行き改善を示唆するデータもみられるが、国内外の景気が弱含む中、生産の大幅改善を期待するのは難しい。</p>	<p>2012年の経常黒字(速報値)は813億ドルと、前年の988億ドルから175億ドル減少した。輸出の伸びは前年比+1.7%と、原油・ガスの輸出減少を背景にこれまでの2桁の伸び率から大幅減速した。サービス収支及び企業の所得収支の赤字拡大も経常黒字減少の要因である。</p> <p>また、ロシアの資本流出はそのペースは鈍化しているものの、企業部門を中心に続いている。民間部門の資本フローのデータによると、2012年は568億ドルの流出超となり、ギリシャのデフォルト懸念などから投資家のリスク警戒感が著しく高まった前年の805億ドルの流出超からは減少したものの、景気が大きく後退した2009年とほぼ同水準となる流出超を記録した。また、ロシアへの直接投資(FDI)は弱含みの推移となっているほか、国別ではキプロスへ多額のFDI流出がみられるなど、国内投資を敬遠する性格の強いマネーフローが見受けられる。</p>

## ロシア経済・金融概況

### 1. 年、四半期

	2010	2011	2012	11/Q4	12/Q1	12/Q2	12/Q3	12/Q4
名目GDP実額 (10億米ドル)	1,493.9	1,841.0	-	480.2	420.5	494.9	490.7	-
実質GDP成長率 (y/y, %)	4.3	4.3	-	4.8	4.9	4.0	2.9	-
(民間消費支出) (y/y, %)	3.3	4.8	-	7.7	7.2	6.6	4.3	-
(総固定資本形成) (y/y, %)	5.8	8.0	-	13.2	15.0	7.9	7.2	-
鉱工業生産(実質) (y/y, %)	8.3	4.8	-	3.3	4.1	2.3	2.5	-
小売売上(実質) (y/y, %)	6.2	6.9	-	8.9	7.6	7.0	4.7	-
銀行貸出伸び率(民間部門) (y/y, %)	14.5	28.1	-	24.6	26.0	28.0	25.4	-
消費者物価上昇率 (y/y, %)	6.9	8.5	-	6.7	3.9	3.8	6.0	-
平均賃金上昇率(名目) (y/y, %)	11.8	12.8	-	15.4	14.8	15.5	12.7	-
失業率 (%)	7.5	6.6	-	6.3	6.5	5.5	5.3	-
貿易収支 (百万米ドル)	151,393	198,180	195,400	54,203	59,180	50,059	40,820	48,600
輸出額 (百万米ドル)	400,131	522,011	530,700	144,704	131,766	131,919	126,744	141,600
輸出伸び率 (y/y, %)	31.9	30.5	1.7	27.4	16.4	-1.3	-2.8	-2.1
輸入額 (百万米ドル)	248,738	323,831	335,400	90,501	72,586	81,860	85,924	93,000
輸入伸び率 (% , y/y)	29.7	30.2	3.6	18.3	11.5	-1.4	0.8	2.8
経常収支 (百万米ドル)	70,255	98,834	81,300	28,307	39,014	18,194	6,723	17,300
資本収支 (百万米ドル)	-25,486	-76,214	-40,900	-31,037	-34,054	-16,367	-8,503	18,000
対内直接投資 (百万米ドル)	43,288	52,879	-	13,955	12,415	4,367	16,298	-
外貨準備高 (百万米ドル)	448,778	453,952	-	453,952	465,664	467,992	476,381	-
対外債務残高 (百万米ドル)	488,940	545,387	-	545,387	565,274	572,667	-	-
株価指数 (MICEX index)	1,435	1,606	1,453	1,430	1,537	1,392	1,442	1,442
短期金利 (MIACR 3m)	5.933	5.592	7.173	7.175	7.113	7.088	7.129	7.359
Rouble/USD	30.377	29.403	31.068	31.210	30.164	31.070	31.963	31.074
Rouble/Euro	40.269	40.883	39.917	42.054	39.550	39.824	39.975	40.312
Rouble/GBP	46.948	47.111	49.236	49.038	47.373	49.143	50.493	49.922
原油価格(ウラル) (USD/バレル)	78.227	109.301	110.351	108.815	116.983	106.503	108.744	108.807

### 2. 月次

	12/05	6	7	8	9	10	11	12
鉱工業生産(実質) (y/y, %)	2.0	1.9	3.4	2.1	2.0	1.8	1.9	-
小売売上(実質) (y/y, %)	7.4	7.1	5.4	4.3	4.5	4.0	4.4	-
銀行貸出伸び率(民間部門) (y/y, %)	28.1	28.2	27.2	26.6	22.5	24.3	-	-
消費者物価上昇率 (y/y, %)	3.6	4.3	5.6	5.9	6.6	6.5	6.5	6.6
平均賃金上昇率(名目) (y/y, %)	16.5	14.9	14.1	12.3	11.6	14.1	14.2	-
失業率 (%)	6.5	5.4	5.4	5.2	5.2	5.3	5.4	-
貿易収支 (百万米ドル)	17,524	13,937	11,524	11,294	15,597	14,499	15,356	-
輸出額 (百万米ドル)	45,709	40,935	41,269	41,311	43,163	46,052	45,447	-
輸出伸び率 (y/y, %)	4.7	-7.3	-1.7	-7.3	-1.5	0.0	-4.0	-
輸入額 (百万米ドル)	28,185	26,998	29,745	30,017	27,566	31,553	30,091	-
輸入伸び率 (y/y, %)	0.0	-2.7	8.2	-0.5	0.0	7.3	-1.0	-
株価指数 (MICEX index)	1,345	1,346	1,411	1,441	1,477	1,459	1,405	1,461
短期金利 (MIACR 3m)	6.877	7.004	7.428	7.071	6.865	7.502	7.025	7.553
Rouble/USD	30.933	32.823	32.495	31.950	31.392	31.122	31.375	30.705
Rouble/Euro	39.528	41.177	39.947	39.633	40.401	40.356	40.250	40.330
Rouble/GBP	49.191	51.106	50.660	50.242	50.598	50.052	50.086	49.609
原油価格(ウラル) (USD/バレル)	108.332	93.836	102.471	112.721	111.071	109.998	108.398	108.877

(注)貿易の値は国際収支から採用。2013年1月より、株価指数はMICEX指数(指数開始日1997年9月22日=100)に変更。

(資料) ロシア中央銀行、ロシア統計局、Bloomberg、Macrobond他

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいませ。宜しく願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。